



## 人権といじめ

校長 吉川 信次

人権週間が12月4日から始まります。1948年12月10日第3回総会（国際連合）においてパリで世界人権宣言が採択されたのを契機に12月10日を人権デーとして1950年に定められました。品川区でも12月9日（土）～15日（金）の期間、「しながわ人権のひろば」2023（きゅりあん7階イベントホール）が開催され、品川区立学校の代表児童・生徒たちの人権に関する標語やポスターが展示されます。お時間がありましたら是非足をお運びください。

小学生にとって「人権」という言葉は難しいかもしれませんが、簡単にいうと「自分らしく幸せに生きる権利」であり、人権を尊重するとは「自分も他人も大切にする」ということです。世の中には人権に関する課題が様々ありますが、学校においては「いじめ」の問題が一番大きいと思います。文部科学省が2023年10月3日に公表した調査結果では小中高校などで認知したいじめ件数は過去最多の68万1,948件となっており、重大事態となったいじめ件数は923件（前年度706件）で、前年度に比べ217件（30.7%）増加したという報告がありました。数値だけを見ると昔と比べいじめが多くなっていると思われる方が多くいらっしゃると思いますが、その背景にはいじめの定義が変化してきているという状況があります。①②③を比較しながら読んでみてください。

### 【平成6年度からのいじめの定義】

「いじめ」とは、「①自分より弱い者に対して一方的に、②身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、③相手が深刻な苦痛を感じているもの。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。」とする。なお、個々の行為がいじめに当たるか否かの判断を表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うこと。

### 【平成25年度からのいじめの定義】いじめ防止対策推進法

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と①一定の人的関係のある他の児童生徒が行う②心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が③心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

「空気」  
・では、いじめの原因は何かを伝えよう。それは「空気」だ。これが目に見えないものだから恐ろしい。いじめをしなれば自分がやられてしまうという空気、いじめに参加しないとイケない空気。そう、いじめの加害者・主犯でさえも空気によって動かされているのだ。\*一部引用。

松竹 景虎

現在の定義では①一定の人的関係（同じ学級・学年・クラブ等）があり②心理的（無視・悪口等）又は物理的（たたく・ける等）な影響を与える行為があつて③本人が苦痛を感じているものは、いじめとなるのです。現在のいじめの定義の方が学校生活で起きる可能性がより高くなります。いじめの定義が広がった理由の一つにいじめを起因とした自死があり、社会的に大きな問題としていじめが取り上げられ、重大な事故が起きる前にいじめを素早く認知し、対応できようように定義を見直したということです。

本校では、「いじめ防止基本方針」に基づき、6月・11月・2月を「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」と位置付け取組を進めています。11月には教職員の研修として、いじめを苦に自ら命を絶ってしまった、松竹景虎さん（当時中学3年生）が亡くなる約半年前に書いた作文「空気」を通していじめへ根絶の意識をより高めました。一部のクラスメートから始まった「ウザい」、「キモい」、「死ぬ」といった悪口は、気がつくクラス半数以上の生徒に広がっていたといいます。そんな状況に直面していた松竹さんは、夏休みの「人権作文」の課題で、『空気』というタイトルの作文を書いていました。とても胸を打つ文章ですの

で全文を読んでみてください。以下のリンク先に全文が掲載されています。

<https://www.nhk.or.jp/school/tokkatsu/ijimezero/kyouzai/000026.pdf>

「自分らしく幸せに生きる」「自分も他人も大切にする」ということを今後も様々な機会を通して子どもたち、教職員に語りかけていきたいと思ひます。

【市民科一貫プラン 5・6年生より】「理想とする社会」に向けて自分たちが取り組んでいくことが少しずつ具体的になってきました。今後、保護者宛にお願いの文書が配布されます。目を通していただき少しでもご協力いただくと幸いです。よろしくお願ひいたします。

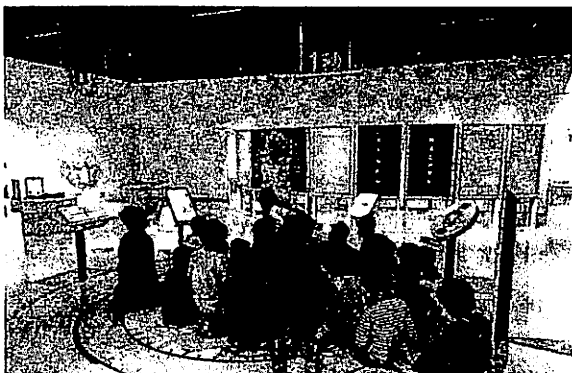
## 3年生 『100年後の地球は…』

3年担任 広瀬 裕美

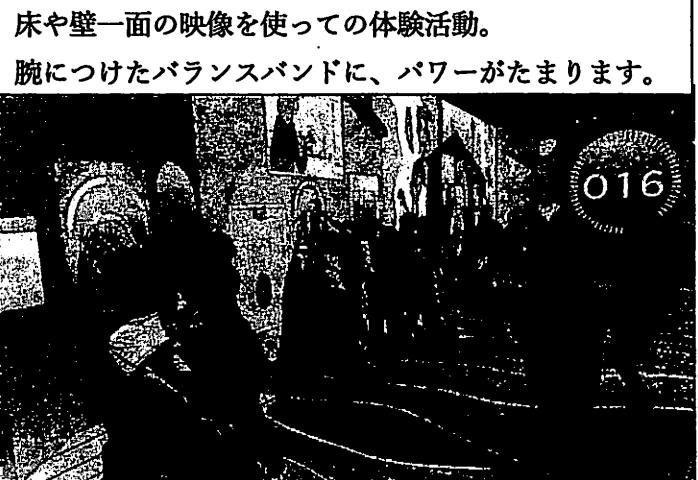
10月24日(火)に、社会科見学に行きました。貸し切りバスに乗って向かった見学先は、武蔵小山商店街・エコルとごし・京浜トラックターミナルです。社会科で学習した品川区の様子も、バスの車窓から見学しました。

中心となる見学先エコルとごしでは、様々な活動を通して、環境問題について考えました。エコルとごしは、建物全体が環境を考えた作りになっています。太陽エネルギーを使っている、ごみ箱を置いていないなど、ボランティアさんの話を聞いて、子ども達は驚いていました。

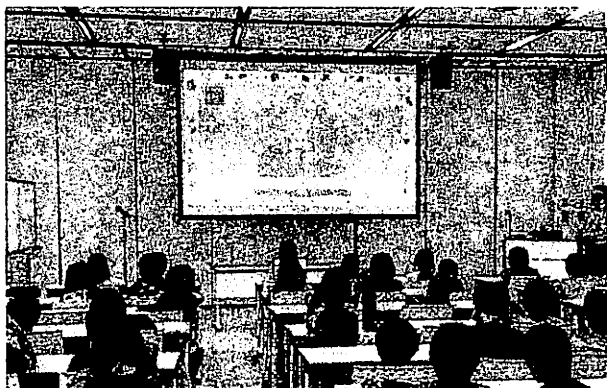
「現在の私たちの行動が、未来の地球を守ることになる。」これから、どのように行動していくといいのか、学んだことを普段の生活でも活かしてほしいと思います。



グループに分かれて、ボランティアさんに館内を案内してもらいました。



床や壁一面の映像を使っでの体験活動。  
腕につけたバランスバンドに、パワーがたまります。



有名人の方、企業の方、学校の先生などのお話を聞きました。杉浦副校長先生も登場しました。

たった1秒でも、その間に変わる環境。1秒で何ができるか考えました。



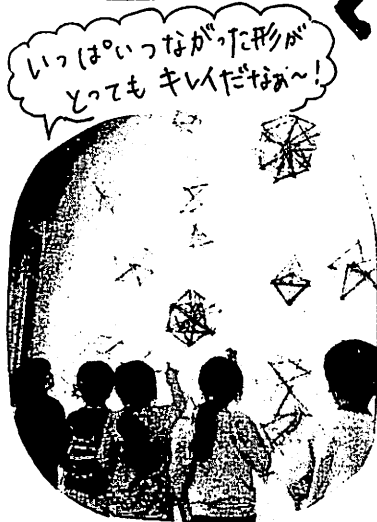
# Oh1 Art Museumの「つくる手に想いをのせて」

おご米場いただき、ありがとうございました\*

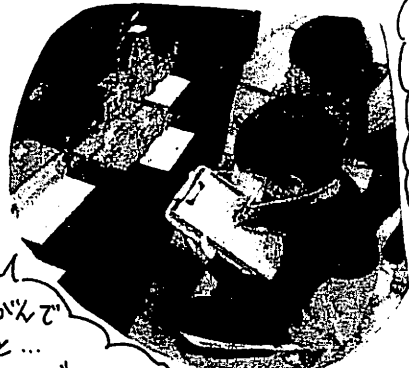
たくさんの方においでいただき、「Oh1 Art Museum ～つくる手に想いをのせて～」を開催することができました。展覧会では、子どもたちの日頃の学習の成果と創意工夫が感じられる想いの込められた作品の数々を楽しんでいただけましたでしょうか？

児童鑑賞日には、友だちのすてきな作品を見つける子、下級生の立派な作品に驚く子、上級生の作品をみて「こんな作品を作りたい！」と憧れを抱く子がいました。制作している時のみならず、鑑賞している時間も心豊かに過ごしていた様子が多く見られました。子どもたちにとって、展覧会のように周りの人から自分がつくり出したものが受け入れてもらえることや、楽しんでもらえるのだということが感じられる経験は、安心の土台となり、表現活動の基礎になっていくだろうと私は思います。展覧会を通して子どもたちがより一層のびのびと表現し、お互いの表現を認め合えるようになっていっていると感じております。

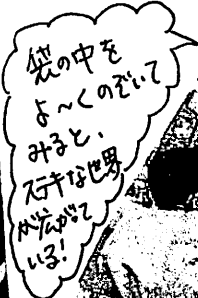
## ＜児童鑑賞の様子＞



いっぱいながった形が  
とってもキレイだね～！



しゃがんで  
みると...  
パーツがずれてみえて  
おもしろい！

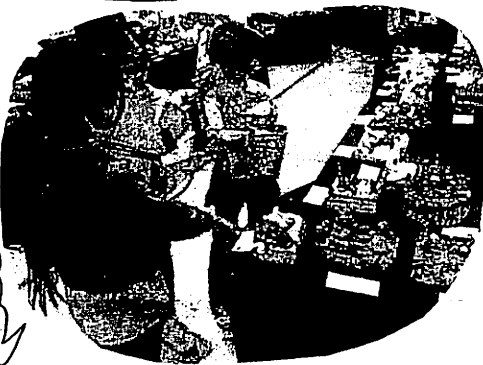


袋の中を  
よ～くのぞいて  
みると、  
石がは世界  
が広がって  
いる！



ちぎり方や  
貼り方を工夫  
していて、  
1年もズイだね！

細かいところまでうつくしくて  
さすが6年生だね！

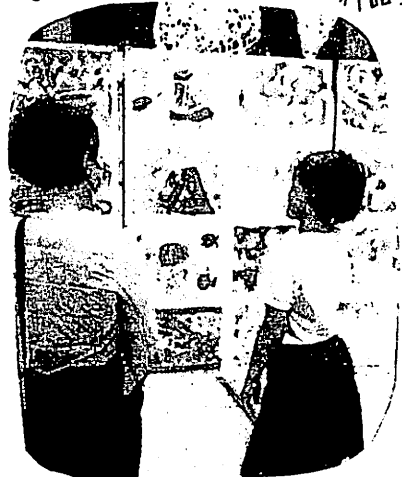


このケーキ  
美味しそうだよ！

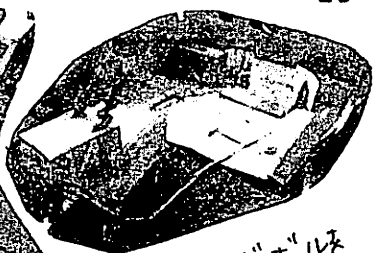


## ＜6年生「よび学委員」＞

ご来場いただいた方々に  
作品の解説やポイントを説明してくれました！



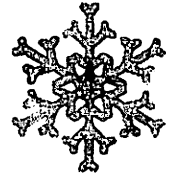
## ＜5年生「造形あそび」『だんだんダンボール』＞



たくさんあるダンボールを  
使って何が出来るか？  
切ったり、丸めたり、つなげ  
たりしながら、友だちと  
協力して取り組みました。

年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」  
 今月の生活目標

生活のめあて	正しい姿勢でお話を聞きましょう
保健のめあて	うがいと手洗いをしよう
給食のめあて	きれいに手を洗おう



## 12月の行事予定

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	金	クラブ発表① 委員会	17	日	
2	土	土曜授業日(授業参観2・3校時) ドリームジョブ(6年) 区内一斉防災訓練	18	月	学期末個別学習①
3	日		19	火	放送朝会 保護者会(6年) 学期末個別学習②
4	月	安全指導日 縦割り班会議(5・6年)	20	水	
5	火	放送朝会	21	木	学期末個別学習③ 脊柱側彎症検診(5年)
6	水	体育朝会 午前授業	22	金	音楽朝会 給食終
7	木	体育朝会 社会科見学(6年)	23	土	
8	金	クラブ発表② クラブ 避難訓練 煙ハウス訓練(3年)	24	日	
9	土		25	月	終業式
10	日		26	火	冬休み業始
11	月	すくすくスクール(最終)	27	水	
12	火	放送朝会 フレンドタイム 縦割り班会議(5・6年)	28	木	
13	水		29	金	開庁日
14	木		30	土	開庁日
15	金	児童集会 フレンドまつり	31	日	開庁日
16	土				

### 年末年始について

- ① 12/28(木)17時～1/4(木)8時までは夜間等電話委託の業務はお休みとなります。
- ② 12/29(金)～1/3(水)は年末年始の開庁日につき入校できません。

### 生活指導部より

生活指導部 藤田 貴城

師走に入り、世の中が慌ただしくなる時期です。16時30分頃を過ぎるとあっという間に陽が落ちるようになり、大一の子ども達の放課後の過ごし方が心配です。

- ① 約束の帰宅時刻は守られていますか？
- ② 自転車に乗る時、ヘルメットの着用やライトの点灯は確実にしょうか？
- ③ 自動車・バイクのドライバーから認識されやすい服装でしょうか？
- ④ 早寝・早起き・手洗い・うがい・水分補給など体調管理は万全でしょうか？

事故・事件にまき込まれないために、今一度、お子さんと確認をよろしくお願ひします。

また、学期末にあたり学習用具の計画的な持ち帰りを担任より声かけをします。

冬休みの過ごし方についても、お便りを配布し指導する予定です。安全第一・健康第一で新年を迎えられるよう、引き続きご協力をよろしくお願ひします。

### リレーコラム「かかわる、創る」

5年担任 坂本 誠

行きつけの蕎麦屋でいつも同じメニューを注文してしまう私ですが…

研修で海外の小学校の図工の授業を見る機会がありました。その授業の最初に子ども達は、「創りたい自分だけの“庭”」を絵に表します。その後、“庭”を小さな植木鉢に実際に再現する課題に挑戦します。しかし、植木鉢は子ども2人組に対して1つしか配られません。つまり、子ども達は互いの“庭”のイメージを理解・尊重し、合意形成しながら2人の“庭”を創る必要があります。更に、教師の意図的なグルーピングにより、2人組となった子ども達は人種や得意とする言語が異なっていたり、難民としての過去を背負い心に傷を負っていたりとかかなり多様です。ただ、そのような活動だから得られる貴重な学びがそこにはあったように感じます。日本と海外では環境は異なりますが、日々の教室の中で「いつもと違う友達」「友達とあえて違う考えを主張」とあえて変化をつけることで違った学びを得られるチャンスがあるのかもしれない。